

【倫理】

問題のねらい，主に問いたい資質・能力及び小問の概要等

第1問A 問題のねらい

19世紀頃に西欧で描かれた「人生の段階図」や，認知や発達などの考え方を踏まえた道徳性の発達段階などを題材として，資料に示された人生観や発達観等についての理解と，資料を通して倫理的諸課題について考察する力を問う。

| | 解答 番号 | 高等学校学習指導要領の内容 | 主に問いたい資質・能力 | | 小問の概要 |
|----|----------|---|---|--|---|
| | | | 知識・技能 | 思考力・判断力・ 表現力 | |
| 問1 | 1 | (1) 現代に生きる自己の課題 (3) 現代と倫理 イ 現代の諸課題と倫理 | 男女の対等な在り方についての理解 資料から倫理的諸課題をとらえるために役立つ情報を適切に選択する技能 | 諸資料を活用して，必要な情報を読み取り，倫理的諸課題をとらえることができる。 | 「人生の段階図」という絵画資料を手掛かりとして，そこに示された性別による役割の分業観をとらえ，人生観の多様性について考察する。 |
| 問2 | 2 | (1) 現代に生きる自己の課題 | 自己形成に関する考え方についての理解 | 倫理的な見方や考え方を働かせて，倫理的諸課題について，論理的に思考することができる。 | マズローの欲求の階層についての基本的な理解を踏まえ，会話を手掛かりにして，人間の欲求の様相について考察する。 |
| 問3 | 3 | | 他者と共に生きる自己の生き方についての理解 資料から倫理的課題をとらえるために役立つ情報を適切に選択する技能 | 倫理的な見方や考え方を働かせて，社会生活や日常生活の中の倫理的諸課題をとらえることができる。 | 資料に示された道徳的判断の発達についての考え方を手掛かりとして，その考え方が反映されている事例を判別する。 |

第1問B 問題のねらい

アリストテレスの『ニコマコス倫理学』を題材として、徳や技術などについての理解と、倫理的な見方や考え方を活用して、倫理的諸課題について論理的に思考したり、善や真などの概念を批判的に吟味したりする力を問う。

| | 解答 番号 | 高等学校学習指導要領の内容 | 主に問いたい資質・能力 | | 小問の概要 |
|----|----------|--------------------------------|-------------------------------|---|---|
| | | | 知識・技能 | 思考力・判断力・ 表現力 | |
| 問4 | 4 | (2) 人間としての在り方生き方 ア 人間としての自覚 | 古代の徳に関する考え方についての理解 | | 古代ギリシアやローマの先哲の徳についての考え方をとらえる。 |
| 問5 | 5 | | 善や真などの概念についての理解 | 社会生活や日常生活の中の倫理的諸課題について、批判的に吟味したり多面的・多角的に考察したりすることができる。 倫理的諸課題を多面的・多角的に考察した過程や結果を、理由や根拠に基づいてまとめることができる。 | アリストテレスの資料を手掛かりとして、真、善、美、正しさの概念について考察する。 |
| 問6 | 6 | | 技術と思慮に関する古代ギリシアの先哲の考え方についての理解 | 倫理的な見方や考え方を働かせて、社会生活や日常生活の中の倫理的諸課題をとらえることができる。 | 技術と思慮についてのアリストテレスの考え方に即して日常生活における事例を考察する。 |

第1問C 問題のねらい

人間としての在り方生き方について、自らの課題と重ね合わせて考えを深める探究活動の場面を通して、人生における哲学や宗教のもつ意義などについての理解と、倫理的諸課題について考察する力、考察した過程や結果を理由や根拠に基づいてまとめる力を問う。

| | 解答番号 | 高等学校学習指導要領の内容 | 主に問いたい資質・能力 | | 小問の概要 |
|-----|-------------------|--------------------------------|--|---|--|
| | | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | |
| 問7 | 7 8 9 10 | (2) 人間としての在り方生き方 ア 人間としての自覚 | 様々な思想の源流についての理解 | 先哲の思想などを手掛かりとして、倫理的諸課題の特色、背景などの相互の関連性について考察することができる。 倫理的諸課題を多面的・多角的に考察した過程や結果を、理由や根拠に基づいてまとめることができる。 | 天国、空、非攻、梵我一如について、思想の特色や背景などの相互の関連性について考察する。 (解答が前問の解答と連動し正答の組み合わせが複数ある問題) |
| 問8 | 11 | | ユダヤ教、キリスト教、イスラームの特色についての理解 | / | ユダヤ教、キリスト教、イスラームの三つの宗教に共通する特色をとらえる。 (当てはまる選択肢を全て選択させる問題) |
| 問9 | 12 13 | | 愛に関する東西の思想の特色についての理解 | 諸資料を活用して、必要な情報を読み取り、倫理的諸課題をとらえることができる。 | 愛に着目して、選択肢に示された考え方をとらえ、その考え方と資料との関連性について考察する。 (解答が前問の解答と連動し正答の組み合わせが複数ある問題) |
| 問10 | 14 | | 中国古代の思想の特色についての理解 資料から倫理的諸課題をとらえるために役立つ情報を適切に選択する技能 | 倫理的諸課題について、様々な立場からの主張を、根拠に基づいて多面的・多角的に考察し、公正に判断することができる。 | 『莊子』の資料を基に、儒家と道家の考え方の違いについて、比較して考察する。 |

第2問A 問題のねらい

神体である滝を描いた「那智滝図」などを題材として、日本における仏教の受容などについての理解と、日本人にみられる宗教観の特質について資料から必要な情報を読み取り、その特色について考察する力を問う。

| | 解答 番号 | 高等学校学習指導要領の内容 | 主に問いたい資質・能力 | | 小問の概要 |
|----|----------|---|--|---|--|
| | | | 知識・技能 | 思考力・判断力・ 表現力 | |
| 問1 | 15 16 | (2) 人間としての在り方生き方 イ 国際社会に生きる日本人としての自覚 | 日本人にみられる自然観や宗教観の特質についての理解 | | 「那智滝図」の絵画資料を基に、古代日本人にみられるアニミズムの考え方や宗教観をとらえる。 |
| 問2 | 17 | (2) 人間としての在り方生き方 ア 人間としての自覚 イ 国際社会に生きる日本人としての自覚 | アジアにおける仏教の展開についての理解 日本における仏教の受容についての理解 | | 日本において受容された仏教と対比しながら、上座部仏教の特色や背景などをとらえる。 |
| 問3 | 18 | (2) 人間としての在り方生き方 イ 国際社会に生きる日本人としての自覚 | 平安時代の仏教の考え方についての理解 | 先哲の思想などを手掛かりとして、倫理的諸課題の特色、背景などの相互の関連性について考察することができる。 | 空海思想の特色を踏まえ、絵画資料を基に、曼荼羅の意義や意味を考察する。 |
| 問4 | 19 | | 日本人にみられる宗教観の特質についての理解 資料から倫理的諸課題をとらえるために役立つ情報を適切に選択する技能 | 諸資料を活用して、必要な情報を読み取り、倫理的諸課題をとらえることができる。 倫理的諸課題を多面的・多角的に考察した過程や結果を、理由や根拠に基づいてまとめることができる。 | 統計資料を基に、日本人にみられる宗教観をとらえ、その特色や背景などについて考察する。 |

第2問B 問題のねらい

日本における外来思想の受容をテーマとして、中世から近代までの先哲の考え方についての基本的な理解と、諸資料を基に、日本人にみられる思想の特色について考察する力を問う。

| | 解答番号 | 高等学校学習指導要領の内容 | 主に問いたい資質・能力 | | 小問の概要 |
|----|------|---|------------------------|--|--|
| | | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | |
| 問5 | 20 | (2) 人間としての在り方生き方 イ 国際社会に生きる日本人としての自覚 | 鎌倉時代の仏教の考え方についての理解 | 先哲の思想などを手掛かりとして、倫理的諸課題の特色、背景などの相互の関連性について考察することができる。 | 鎌倉時代の仏教における諸宗派の考え方の特色をとらえ、比較して考察する。 |
| 問6 | 21 | | 江戸時代における儒学の特色についての理解 | 諸資料を活用して、必要な情報を読み取り、倫理的諸課題をとらえることができる。 | 林羅山の資料を基に、江戸時代における朱子学の考え方の特色をとらえ、その意義や意味について考察する。 |
| 問7 | 22 | | 日本の近代思想にみられる人間観についての理解 | 倫理的諸課題について、様々な立場からの主張を、根拠に基づいて多面的・多角的に考察し、公正に判断することができる。 | 和辻哲郎の資料を基に、和辻哲郎にみられる人間観をとらえ、その特色について西洋にみられる考え方と比較して考察する。 |

第3問A 問題のねらい

人間と社会の在り方に関して、原典資料や芸術作品等を手掛かりとして、人間観や芸術観などについての理解や、倫理的な見方や考え方を働かせて、論理的に思考する力を問う。

| | 解答 番号 | 高等学校学習指導要領の内容 | 主に問いたい資質・能力 | | 小問の概要 |
|----|----------|----------------------------|--|--|--|
| | | | 知識・技能 | 思考力・判断力・ 表現力 | |
| 問1 | 23 24 | (3) 現代と倫理 ア 現代に生きる人間の倫理 | 倫理的判断の基盤となる自由意志に関する考え方についての理解 | 倫理的な見方や考え方を働かせて、倫理的諸課題について、論理的に思考することができる。 | ルネサンス期の自由意志についての資料を出発点にして、自由意志についての様々な考え方を相互に比較して考察する。 |
| 問2 | 25 | | 科学技術の発達の影響についての理解 資料から倫理的諸課題をとらえるために役立つ情報を適切に選択する技能 | 倫理的な見方や考え方を働かせて、社会生活や日常生活の中の倫理的諸課題をとらえることができる。 | 科学技術の発達が人間の感性に及ぼす影響をとらえ、その観点からそれぞれの芸術作品の特色を読み取り、考察する。 |
| 問3 | 26 | | 現代における人間観の変容についての理解 | 倫理的な見方や考え方を働かせて、社会生活や日常生活の中の倫理的諸課題をとらえることができる。 | メルロ＝ポンティの身体についての考え方をとらえ、その特色について、選択肢に示された具体的な事例に即して考察する。 |

第3問B 問題のねらい

自己の在り方を考えるということをテーマとして、人間観や世界観についての理解や、先哲の考え方を手掛かりとして、様々な立場からの主張を、根拠に基づいて多面的・多角的に考察する力を問う。

| | 解答番号 | 高等学校学習指導要領の内容 | 主に問いたい資質・能力 | | 小問の概要 |
|-----------|----------|----------------------------|--------------------------|--|--|
| | | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | |
| 問4 (1) | 27 28 | (3) 現代と倫理 ア 現代に生きる人間の倫理 | 自己を実体とみなす考え方についての理解 | | デカルトとヒュームの自己についての考え方とその特色をとらえる。 |
| 問4 (2) | 29 30 | | 自己を構成されたものとみなす考え方についての理解 | | |
| 問5 | 31 | | 実存主義における自己の考え方についての理解 | 倫理的諸課題について、様々な立場からの主張を、根拠に基づいて多面的・多角的に考察し、公正に判断することができる。 | ヤスパースの自己についての考え方とその特色について、他の先哲と比較して考察する。 |

第3問C 問題のねらい

古代ギリシアから近代までの労働に関する先哲の考え方についての理解を問う。

| | 解答番号 | 高等学校学習指導要領の内容 | 主に問いたい資質・能力 | | 小問の概要 |
|----|------|--|--------------------|-------------|---|
| | | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | |
| 問6 | 32 | (2) 人間としての在り方生き方 ア 人間としての自覚 (3) 現代と倫理 ア 現代に生きる人間の倫理 | 労働に関する先哲の思想についての理解 | | アーレントの労働観を手掛かりにして、古代ギリシアから近代までの様々な先哲の考え方とその特色をとらえる。 |

第4問A 問題のねらい

生命倫理に関する課題探究を始める場面を通して、民主社会の形成の基礎となった先哲の思想を手掛かりにして、生命観や人間が本来的にもつ権利についての理解と、現代の倫理的諸課題の解決を探るために必要な論理的に思考する力を問う。

| | 解答番号 | 高等学校学習指導要領の内容 | 主に問いたい資質・能力 | | 小問の概要 |
|----|------|----------------------------|-------------------------------|--|---------------------------|
| | | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | |
| 問1 | 33 | (3) 現代と倫理 ア 現代に生きる人間の倫理 | 人間が本来的にもつ権利に関する先哲の思想についての理解 | 倫理的な見方や考え方を働かせて、倫理的諸課題について、論理的に思考することができる。 | ロックの所有権の考え方について考察する。 |
| 問2 | 34 | (3) 現代と倫理 イ 現代の諸課題と倫理 | 近年の生命科学や医療技術の発達に伴う生命倫理についての理解 | / | 生命倫理に関わる日本の法整備などの現状をとらえる。 |

第4問B 問題のねらい

課題探究の成果をまとめて発表する場面を通して、倫理的な見方や考え方を働かせて、倫理的諸課題について環境倫理の視点から考察する力や、考察した過程や結果を理由や根拠に基づいてまとめる力を問う。

| | 解答番号 | 高等学校学習指導要領の内容 | 主に問いたい資質・能力 | | 小問の概要 |
|----|----------|----------------------------|-------------------------|---|---|
| | | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | |
| 問3 | 35 | (3) 現代と倫理 ア 現代に生きる人間の倫理 | 近代的な身体観についての理解 | 倫理的な見方や考え方を働かせて、社会生活や日常生活の中の倫理的諸課題をとらえることができる。 | 選択肢に示された様々な身体についての考え方の特色をとらえ、比較して考察する。 |
| 問4 | 36 | (3) 現代と倫理 イ 現代の諸課題と倫理 | 科学技術の活用に関する倫理的課題についての理解 | 社会生活や日常生活の中の倫理的諸課題について、批判的に吟味したり多面的・多角的に考察したりすることができる。 | 社会生活や日常生活における科学技術の活用についての倫理的課題をとらえ、その解決に向けて考察する。 |
| 問5 | 37 38 | | 生命倫理や環境倫理の考え方についての理解 | 倫理的諸課題について、様々な立場からの主張を、根拠に基づいて多面的・多角的に考察し、公正に判断することができる。 倫理的諸課題を多面的・多角的に考察した過程や結果を、理由や根拠に基づいてまとめることができる。 | 所有と自己決定の考え方をめぐる諸側面の理解を踏まえ、環境倫理における倫理的諸課題をとらえる際に留意すべき視点と関連づけて考察する。 |